

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年3月6日

計画の名称	15. 道路ストックの計画的な保全（防災・安全）			重点計画の該当	○
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	三条市		
計画の目標					

老朽化する橋梁に対し、的確な維持管理を行い、安全・安心な交通を確保する。

計画の成果目標（定量的指標）

5カ年以内に修繕が必要な橋梁について、補修完了率を100%とする。

定量的指標の定義及び算定式

$$\text{（橋梁補修の完了率）} = \text{（橋梁補修完了箇所数）} / \text{（要橋梁補修箇所数）} \times 100\%$$

要橋梁補修箇所数=44箇所

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
0%		100%	橋梁長寿命化計画に基づく橋梁補修

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	740百万	A	713百万	B	百万	C	27百万	D	百万	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	3.6%
-------	-----------------	-------	---	-------	---	----	---	------	---	----	-----------------------------	------

交付対象事業

A 道路事業													全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H25	H26	H27	H28	H29		
15-A1	道路	一般	三条市	直接		市町村道	修繕	(1) 高岡下大浦線ほか	橋梁調査・設計 補修 (5橋)	三条市						317	策定済
15-A2	道路	一般	三条市	直接		市町村道	修繕	(他) 尾崎7号線ほか	橋梁調査・設計 補修 (13橋)	三条市						215	策定済
15-A3	道路	一般	三条市	直接		市町村道	修繕	(1) 西大崎西本成寺線	橋梁調査・補修設計 (1橋)	三条市						10	策定済
15-A4	道路	一般	三条市	直接		市町村道	修繕	(1) 新保裏館線ほか	橋梁調査・設計 補修 (2橋)	三条市						38	策定済
15-A5	道路	一般	三条市	直接		市町村道	計画・策定	橋梁長寿命化修繕計画策定	橋梁点検・計画策定	三条市						80	策定済
15-A6	道路	一般	三条市	直接		市町村道	点検	道路ストックの総点検	道路ストックの総点検 (定期点検)	三条市						10	策定済
15-A7	道路	一般	三条市	直接		市町村道	修繕	(他) 吉野屋1号線	隧道修繕 L=0.76km	三条市						43	策定済
小計																713	—

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）							
											H25	H26	H27	H28	H29		
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）							
											H25	H26	H27	H28	H29		
15-C1	計画・調査	一般	三条市	直接		市町村道	計画・策定	橋梁長寿命化修繕計画策定事業（1回目）	橋梁点検・計画策定	三条市						6	—
15-C2	計画・調査	一般	三条市	直接		市町村道	計画・策定	橋梁長寿命化修繕計画策定事業（2回目）	橋梁点検・計画策定	三条市						17	—
15-C3	道路	一般	三条市	直接		市町村道	点検	道路ストックの総点検	道路ストックの総点検	三条市						4	—
合計																27	—

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
15-C1	橋梁の健全度調査を実施し、対症療法的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト削減を図る。													
15-C2	橋梁の健全度調査を実施し、対症療法的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト削減を図る。													
15-C3	道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するための計画的な維持管理を実施することを目的として、道路施設の点検を実施する。													

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）								
											H25	H26	H27	H28	H29		
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 交付対象者が評価を実施	事後評価の実施時期 最終目標値に対する実績値が確定した翌年度 公表の方法 ホームページによる公表
------------------------------	---

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	橋梁長寿命化計画に基づく対策(対策必要件数44箇所)を実施し、14箇所の対策を完了することができたが、新保裏館線などの重要度の高い橋梁を優先して実施し、30箇所が事業中または次年度以降の対応となったため、最終実績値が最終目標値を下回る結果となった。 本計画期間内に目標値が達成できなかった橋梁については、引き続き次期計画で事業を実施し、安全・安心な交通の確保を目指す。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	交通量等の実態に即した現状を見極め、市内でも利用者の多い橋梁を優先して実施したことから、一定の安全性を高めることができた。

○目標値の達成状況

番号	指標(略称)		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値/実績値		
1	(橋梁補修の完了率) = (橋梁補修完了箇所数) / (要橋梁補修箇所数) × 100%		
	最終目標値	100%	対策橋梁の優先順位について再検討を実施し、事業費を精査した結果、計画内に対策未完了となった橋梁が生じたため。
	最終実績値	32%	
2	最終目標値		
	最終実績値		
3	最終目標値		
	最終実績値		

○特記事項(今後の方針等)

今後も引き続き、老朽化する橋梁に対し、的確な維持管理を進めていく。

計画の名称	15 道路ストックの計画的な保全（防災・安全）	交付対象	三条市
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）		

